



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

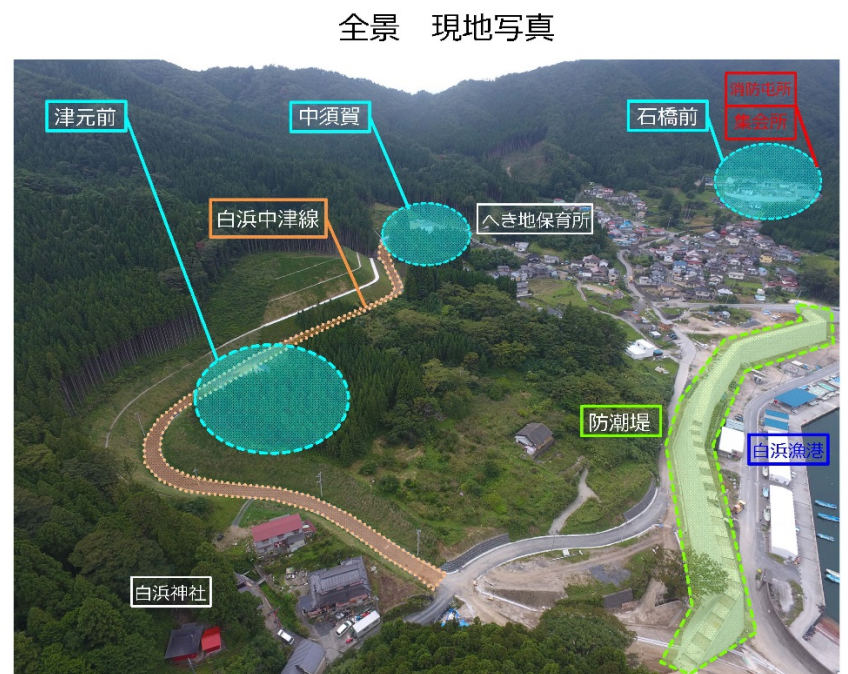
開催日	平成29年11月26日(日)
時間	14:00~15:10
場所	箱崎白浜集会所
参加人数	28人
議題	1. 土地利用計画について 2. 跡地利用計画について 3. 街路灯について 4. 今後の工事スケジュールについて 5. 箱崎半島線の進捗状況について 6. 鶴住居線「(仮称)恋の峠公園線」の進捗状況について 7. 意見交換



当日は、これらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆様から、箱崎白浜集会所新設に対する謝辞、白浜栗沢線と白浜中津線を繋ぐ区間の整備、市道鶴住居32号線・県道交差点付近の舗装、市道鶴住居32号線から漁港に行く道路の拡幅・舗装、白浜中津線山間部区間および市道鶴住居32号線側溝・ガードレール等の整備、中須賀地区および羽木地区の既存道路の整備、中須賀地区自力再建敷地境界のL字溝の整備、石橋地区の集会所付近の斜面整備、市道箱崎半島線の恋の峠付近道路勾配、防潮堤乗越道路の街路灯設置等様々な御意見御要望をいただきました。

議題の概要

箱崎白浜地区の最新の土地利用計画について



箱崎半島線の進捗状況について

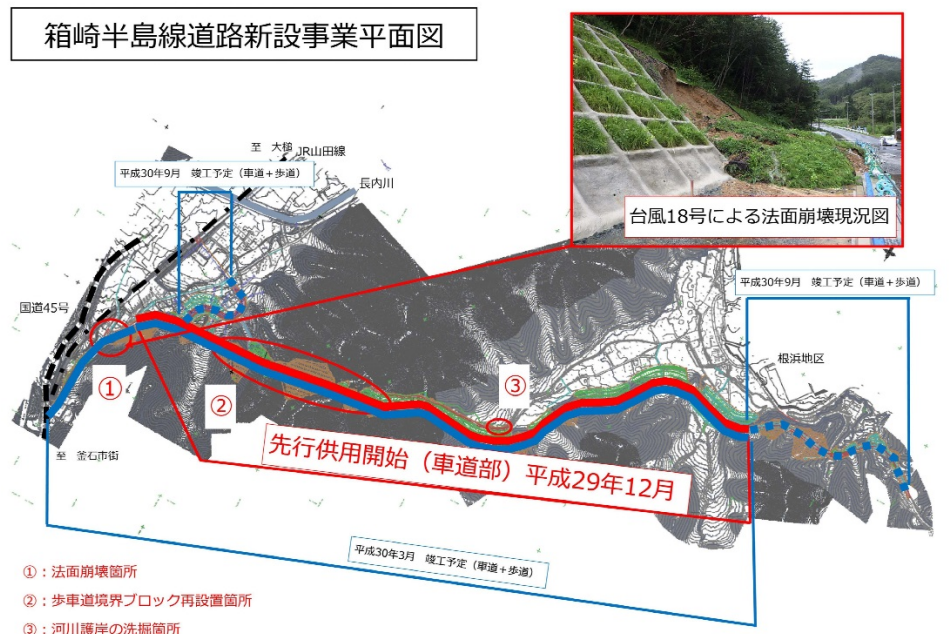
箱崎半島線道路新設事業

【平成29年9月17日~9月18日の台風18号における被災状況】

- ①：市道安ヶ洞線接続付近、のり面崩壊
- ②：本線内においての、路面洗掘による手直し
(歩車道境界ブロックの再設置、路盤の洗掘補修)
- ③：河川護岸の洗掘

【今後の予定】

- ・旧鶴住居第7仮設団地付近から根浜防集団地までの先行供用開始 (H29年12月)
- ・恋の峠から根浜防集団地間、平成30年3月末 供用開始
- ・新川原連絡線、根浜~箱崎間、平成30年9月末 供用開始



このような御意見をいただきました

- (箱崎白浜町町内会会長から謝辞) 東日本大震災からちょうど6年8カ月が経ちました。これまでに、市長をはじめ関係部署の皆様方のご尽力の賜物で、このように復旧復興が出来ました。またこの度は、このような立派な集会所が新設され、当地区の住民をはじめ、災害からの避難場所や諸団体の会議等の活動の場となります。また高齢者が多いため、コミュニティが図られる等、大変喜ばれております。これからも、この施設を大いに活用させていただきたいと思っております。誠に有り難うございました。

- 白浜栗沢線から白浜中津線に至る区間が、整備の対象から外れている。現状では通れず、また、中須賀地区から中津線に避難する道路が無い。今後の整備計画の中に盛り込んでほしい。

白浜栗沢線を高台の白浜中津線へ接続する御要望ですが、避難のために接続することになりますので、今後の跡地利用全体の中で検討したいと考えております。

- 白浜栗沢線の既存道路では、カルバートと舗装の管の擦り付けが最大10cmくらい段差になっている部分がある。白浜栗沢線延長の際には、新しい区間の延長のみでは無く、既存道路の段差解消もお願いしたい。

その箇所の段差等が改良の時点で大丈夫なのか、または、現在の通行の不具合に対して、応急的な措置が必要なのか、現地を確認したうえで、相談させていただければと考えております。現地を確認した後、町内会長に御報告いたします。

- 市道鶴住居32号線と乗り越し道路との交差点付近で、舗装が出来ていない部分がある。砂利道のままだと大雨時に崩れ、車が通ると道路が掘れてしまうため、整備を急いでほしい。また、大型車が周回できるカーブではないため、改良が必要だと感じる。

市道鶴住居32号線・県道交差点部分の舗装は、来年度の跡地利用計画時に実施する予定でございました。市の跡地利用計画に影響しない部分について、ある程度舗装する等、岩手県と調整したいと考えております。

- 市道鶴住居32号線で、漁港の方に入る道路の一部が狭い。また大雨になると、この部分から雨水が流れ、道路を掘っている状況だ。改善してほしい。

市道鶴住居32号線で漁港の方に入る手前の既存道路の部分は、被災していない住宅が立地しておりまして、市有地も無く、拡張は難しいと考えております。

- 市道鶴住居32号線で、側溝未整備区間の路肩が雨で崩れた。次は道路の下が崩れる危険性があるため、対応してほしい。また、急カーブ箇所にガードレールを設置してほしい。

市道鶴住居32号線の舗装とガードレールの件については、町内会長とともに現場を確認させていただき、検討してまいりたいと思っております。→ 今回のまち協でお約束したことで、早速11月28日に町内会長と発言のあった住民の方と建設課職員の3者で立ち会いを行わせていただきました。数か所検討する箇所があるため、今後優先順位を付けて町内会長と確認の上、改修させていただきます。

また、会議の際に発言のあった路肩の崩れた箇所につきましては、国費の活用により復旧を行うため、12月6日に災害査定を終えたところであり、復旧予算の目途がついたところでございます。

- 白浜中津線の山間部の側溝と斜面部分を舗装してほしい。また、市道鶴住居32号線の路肩の水路付近も、併せて整備してほしい。

白浜中津線の山間部区間の路肩では、コンクリートのたたきは実施しておりません。大変な状況であるとの御指摘でございますので、現地を確認いたしまして、対応出来るかどうか検討してまいります。

- 白浜中津線が整備されたために、中須賀地区の自力再建4区画付近において、既存道路を止めてしまった部分がある。地元の住民はよく使っていた有効な道路であり、対応してほしい。

本日のまちづくり協議会終了後に、詳しい場所を教えてください、お話を聞かせてくださるようお願いいたします。

- 石橋地区において、集会所周辺の舗装の予定はどうなっているのか？

仮設の集会所を11月、12月頃に撤去する予定ですので、その後、今年度末までに舗装するスケジュールで考えております。

- 以前、石橋地区において、自分の家の前に市が柵を設置する話や、集会所の並びの部分で道路から家の斜面に芝生を整備する話があったのだが、どうなっているのか？

この付近は、階段と芝を整備する際に、併せて整備することになるかと思いますが、個別に相談させていただきたいと思っております。

- 以前、集会所の下の道路で、設置されたガードレールの下にもう一本細いパイプを通すという話だったが、未だに設置されていない。応急措置で赤いネットを付けたままになっている。パイプの設置を早急に検討してほしい。

本日のまちづくり協議会終了後、現場を確認いたしまして、検討してまいりたいと思っております。

- 中須賀前の4区画の中で、市がお盆過ぎに敷地境界にL字溝を入れるという説明をしていたのだが、未だに実施されていない。どうなっているのか？

申し訳ございません。擁壁工事発注の予定でしたので、市役所で調整し対応いたします。個別に相談させていただきたいと思っております。

- 白浜中津線に出る羽木の上の方の既存道路は、そこに階段を整備するという話になっているが、未だに出来ない。そのため、畑へ上がれない状況になっている。

個別に相談させていただくようお願いいたします。

- 市道箱崎半島線は、勾配が急で、降雪時になかなか溶けないと思う。その対策を十分に実施してもらいたい。

市も新規路線であるため、重点的にパトロールを行います。

また、12月に一部供用開始を予定している箇所は、5カ所に砂箱の看板を設置し、凍結防止剤を設置し、安全対策を行ってまいります。なにぶん、新しい路線であります。冬でも安全に通行できる対策を地域の皆様方と一緒に、検討させていただきたいと思っております。



復興事業については、可能な限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。1日も早い工事の完成に向け、今後も全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せて御覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部
TEL: 0193-27-8479
FAX: 0193-22-2686